

事故死「0」
2500日 目前!

「無事故のまち 積丹町」へ誓いを新たに

積丹町交通安全指導員 出初式

平成19年の積丹町交通安全指導員会（川井順應会長）の出初式が2月28日、町総合文化センターで行われました。

出初式では、佐藤靖幸余市警察署長、福井貞吉町交通安全協会会長などから激励と感謝の言葉が述べられたのち、川井会長から「私たち22名の交通安全指導員は、今日よりまた心を新たに、一丸となって、地域に根ざした活動をすすめてまいります。」と、交通安全宣言が読み上



げられ、出席した指導員の皆さんは今年1年の交通事故防止へ決意を新たにしていきました。

なお、出初式に先立ち、永年により交通事故防止に貢献された交通安全功労者と団体、優良運転者あわせて93人と3団体に対し、表彰状の伝達が行われました。

受賞された方々は次のとおりです。（上部団体のみ掲載。敬称略。）

◆北海道警察本部交通部長・札幌方面交通安全協会会長連名表彰
交通安全功労者

新井田 優 幸さん（余別）
優良運転者

佐々木 忠 義さん（米国）
◆北海道交通安全協会会長表彰
優良運転者（30年以上）

小笠原 司さん（米国）
甲斐 雅 夫さん（米国）
佐藤 満さん（日司）
優良運転者（20年以上）

住吉 信 雄さん（神岬）
中野 哲 郎さん（米国）

馬場 大さん（米国）
◆札幌方面交通安全協会会長表彰
交通安全功労者

石村 作次郎さん（米国）
羽根田 公彦さん（入舸）
的場 無 縫さん（米国）
三上 彰さん（米国）

優良運転者（15年以上）
富士谷 静 江さん（幌武意）
山田 扶紀子さん（余別）
加藤 トシ子さん（幌武意）

戸来 幸 彦さん（米国）
今井 諭さん（米国）
伊藤 英 治さん（米国）
優良運転者（10年以上）

山本 曠さん（米国）
中村 隆 記さん（米国）
俵谷 慶 治さん（野塚）
磯野 久 治さん（米国）

能代谷 信 義さん（神岬）
秋元 隆さん（米国）
◆北海道交通安全推進委員会
感謝状

美国宝寿会
◆札幌方面余市警察署
感謝状

川井 順 應さん（入舸）
成田 康 正さん（米国）
本間 博 之さん（米国）
三上 彰 さん（米国）
的場 無 縫 さん（米国）

卓越した技能に表彰の誉れ

三上 昇さん（米国町） 中村聡夫さん（米国町） 優良技能者表彰

第39回後志管内技能者研修大会が3月11日、泊村公民館で開かれ、優秀技能者として三上昇さん（米国町）が、優良青年技能者として中村聡夫さん（米国町）が後志地方技能尊重運動推進協議会長表彰を受賞しました。

これは、技能水準の向上、地域産業の振興に尽力された方々を表彰するもので、今年度は、後志支庁長表彰4人、同協議会長表彰10人の計14人に対し栄えある表彰が贈られました。

三上さんは、通算36年にわたり建築大工に従事し腕をみがき、特にデザイン研究、寒冷地住宅



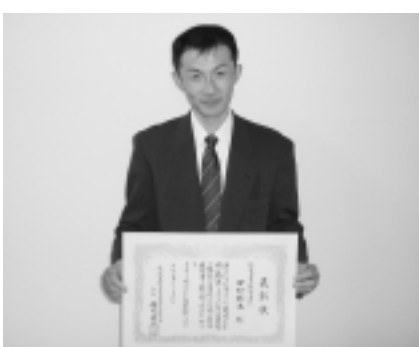
優良技能者表彰を受けた三上昇さん

の新技術の導入等技能に高い評価を得ています。

中村さんは、平成元年に家業である畳製作業に就き、これまで畳の製造販売を始め、機械化にも積極的に取り組むなど町内唯一の畳職人として活躍しています。

また2人は、町技能士会の会員として多様な分野にわたる地域貢献、後継者の育成にも力を注いできました。

この受賞を心からお祝いするとともに今後の更なる活躍を期待いたします。



優良青年技能者表彰を受けた中村聡夫さん

美国漁港のシンボルに！

製氷・貯氷施設が完成

東しゃこたん漁協が実施主体として美国漁港内に建設していた美国地区製氷・貯氷施設の新築工事が2月28日完成し、3月6日には同港において竣工式が行われ、関係者に施設の全容が披露されました。



旧施設は昭和48年に建設されて30年以上が経過し老朽化が著しいため、水の生産能力も低下、特に外来船が集中するイカ盛漁期には氷が不足し外部から購入するなど営漁経費高も問題となっていました。また荷揚と氷供給を同一の岸壁で行っていたため、港内が混雑し時間のロスも見られていました。

竣工式は、佐藤一義同漁協組

新施設は漁業者が専用カード

合長を始め、益子町長や岩本町議会議長、漁協役員、工事関係者ら約48人が出席しました。神主の祝詞に引き続き、主催者を代表して佐藤組合長から「平成16年4月、美国町、積丹、古平の3漁協が合併し、東しゃこ

を入れるだけで氷の供給を受けられるシステムが特徴で、個別のデータは漁協本所に集約、これにより事務処理も明確・迅速化され、建設場所も荷揚げ岸壁と離れた場所に設置するとともに、岸壁の内外の両側から氷の供給を可能にしたことで盛漁期の作業効率も大幅に引き上げられ混雑緩和が図られます。



施設概要

総事業費	2億9,750万円	製氷能力	25t/日
建築面積	158.6㎡	貯氷能力	70t
延床面積	457.84㎡		
規模・構造	鉄骨造 5階建		

本格稼働する4月から、安定した氷の供給により鮮度保持の威力が発揮されることを期待されます。

交通安全の
届ける
交通への願

積丹町商工会女性部

恒例の「愛の鈴」を寄贈

積丹町商工会女性部（葛西幸子部長、部員48名）では、交通安全への願いを込めた「愛の鈴」と新入学児童へ贈る「交通安全のお守り」を、町を通じて4月に新入学児童へ毎年贈っており、今年も2月16日に葛西部長と会員2人が役場を訪れ寄贈しました。

葛西部長は、「新入学児童が真新しいランドセルに「愛の鈴」をぶら下げて、元気に登下校している姿を見かけるとうれしさ

と同時に交通事故には気をつけてほしいと願っています。尊い生命を一瞬で奪う交通事故の発生は地域全体の悲しみです。この愛の鈴の寄贈は、女性部の皆さんが手作りでコッコツ製作されたもので、この日は、新一年生へのお守りを含めた約200個が、益子町長へ手渡されました。

この交通安全への願いを込めた「愛の鈴」は、近年では製作者の高齢化などにより取り組む団体が減ってきています。葛西部長は、「新しいランドセルに「愛の鈴」をぶら下げて、元気に登下校している姿を見かけるとうれしさと同時に交通事故には気をつけてほしいと願っています。尊い生命を一瞬で奪う交通事故の発生は地域全体の悲しみです。この愛の鈴の寄贈は、女性部の皆さんが手作りでコッコツ製作されたもので、この日は、新一年生へのお守りを含めた約200個が、益子町長へ手渡されました。



話してくれました。

同女性部では、毎年春と秋の交通安全運動期間に合わせ、街頭啓発を行い、ドライバーに「愛の鈴」を配布し安全運転を呼びかけています。

この黄色い「愛の鈴」がいつまでも交通安全のシンボルとしてこれからも輝き続けることを願っています。

東しやこたん漁協余別地区女性部

ホッケ加工品で商品化を目指す

東しやこたん漁協積丹支所余別地区女性部（山田扶紀子部長）は、後志北部地区水産技術普及指導所（余市町・道立中央水産試験場内 全先清通所長）の指導のもと、ホッケを使用した新たな加工品の商品化を目指し試作に取り組んでいます。

これは、同女性部が各種イベントにおいて販売する地場産品を生かした新たな加工品を開発して、地場産品の消費拡大と地域に活性化を図ろうとするもので、漁獲量も多く低価格のホッケを素材とした製品の開発を行



うこととしたものです。

2月26日、同女性部10人により、前浜で水揚げされた小型のホッケを使用し、塩水につけたもの、調味料で味付けをしたもの、糠につけたものの3種類を一夜漬けし、女性部員がそれぞれ持ち帰り自宅の干場で乾燥させました。

糠漬け以外の加工品は3月8日、中央水試の協力を得て、試食と真空パック詰めを行い、今後定期的な試食などを重ねながら商品化を目指すこととしています。

花いっぱい 町を明るく!

ひろむ

工藤大陸くん(余別小2年)

地域へ花の種プレゼント

余別小学校2年の工藤大陸くんは2月20日、マリーゴルドの種を余別地区日赤奉仕団や郵便局、地域の商店などに寄贈しました。

これは、地域の方々とふれあいを学ぶ生活科の学習の一環として栽培したマリーゴルドの種を有効に活用してもらいたいとの思いから、手作りのメッセージカードを添えて「暖かくなったら植えてください。」と手渡しました。

工藤くんは、「種を手渡したと



きのみんなの笑顔のように、町が花いっぱい、明るくなるとうれしい。」と話してくれました。



世代を超えた地域交流

野塚地区で三世代交流会

町教育委員会が主催する各地区成人学級の一環として、野塚地区三世代交流会が3月3日、野塚克雪センターで行われました。

この交流会は、地域が主体となって人との触れ合いを大切に楽しみながら世代間の交流を深めようと同地区が先駆的に行っているもので、今年で4年目となります。

交流会には、保育園児から高

齢者まで約25人が参加し、ジャンケンゲームなどレクリエーションで軽く体を動かした後、「お

米さんありがとう音頭」を踊ったり、宝

引き大会などで大いに盛り上がりを見せ、参加者は楽しい一時を過ごしていました。

